

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場会社名 リバーエレテック株式会社

上場取引所 大

コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若尾 富士男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長

(氏名) 高保 譲治

TEL 0551-22-1211

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及び証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,903	20.2	3	—	3	—	△6	—
22年3月期第2四半期	2,416	△32.7	△490	—	△474	—	△414	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△0.91	—
22年3月期第2四半期	△56.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,551	3,065	40.6	415.81
22年3月期	7,490	3,186	41.9	425.53

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,065百万円 22年3月期 3,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,201	20.1	11	—	19	—	4	—	0.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 （詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 7,492,652株 22年3月期 7,492,652株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 121,080株 22年3月期 121,058株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 7,371,585株 22年3月期2Q 7,371,594株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産実績	12
(2) 受注状況	12
(3) 販売実績	12

※ 当社は、以下の通り、四半期決算会社説明会を開催する予定であります。なお、この説明会で配布した資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページにおいて掲載する予定です。

・平成22年12月2日（木）・・・・・・機関投資家及び証券アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府支援策や新興国経済に牽引され、緩やかな回復傾向が続いているものの、依然として厳しい雇用環境や世界経済の減速懸念、為替の過度な変動などにより、先行き不透明な状態が続いております。

このような環境下において当社グループは、顧客満足の向上と市場競争力の強化に注力し、アジアを中心とした海外販売力の拡大を重点課題とし、また、経営効率の改善にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,903,330千円（前年同期比20.2%増）となりました。利益面におきましては増収効果に加え、水晶製品事業において付加価値の高い水晶発振器が好調であり、プロダクトミックスの改善が見られたことや前期に行った固定資産の減損処理による減価償却費の減少などの利益の改善要因があったものの、当社が平成22年8月1日付けで、税制適格退職年金制度を確定給付企業年金制度へ移行したことに伴い、退職給付債務が65,551千円発生したことなどもあり、営業利益3,780千円（前年同期は490,809千円の営業損失）、経常利益3,611千円（前年同期は474,764千円の経常損失）、四半期純損失6,715千円（前年同期は414,816千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

無線モジュール向けなど一部の市場において受注が伸び悩んだものの、世界的なスマートフォン市場の需要拡大を受けて受注が大きく増加しました。また、付加価値の高い小型製品の受注が好調であったことからプロダクトミックスが改善し、平均販売価格もわずかながら上昇しました。

その結果、水晶製品事業の売上高は2,785,308千円（前年同期比22.2%増）となりました。

（その他の電子部品事業）

抵抗器は、AV機器向けの受注が好調であり、売上高は増加したものの、インダクタの事業縮小の影響により、その他の電子部品事業の売上高は118,022千円（前年同期比13.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金の増加45,236千円、製品の増加33,423千円等により前連結会計年度末から60,605千円増加し、7,551,048千円となりました。負債合計は、短期借入金の増加339,077千円、設備支払手形の増加124,812千円、長期借入金の減少266,314千円等により前連結会計年度末から182,232千円増加し、4,485,837千円となりました。純資産合計は、評価・換算差額等の減少64,923千円、少数株主持分49,982千円の減少等により前連結会計年度末から121,627千円減少し、3,065,210千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は81,616千円（前年同期は92,872千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6,019千円、減価償却費216,469千円、たな卸資産の増加143,620千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は238,490千円（前年同期は260,554千円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入による支出281,520千円、定期預金の払戻による収入325,580千円、有形固定資産の取得による支出232,748千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は9,681千円（前年同期は268,845千円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加（純額）338,199千円、長期借入金の返済による支出347,026千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は堅調に推移し、利益面におきましても退職年金制度の移行に伴う退職給付債務の発生などの影響はあったものの、期初予想を大きく上回ることができました。平成23年3月期の通期業績予想につきましては、今後の事業環境及び為替の動向など極めて不透明なことから平成22年5月11日に公表しました予想を据え置いております。また、今後変更が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当該連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動はありません。

②（追加情報）

当社は、平成22年8月1日に退職給付制度の改定を行い、適格退職年金制度から確定給付年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。この改定により退職給付債務が65,551千円増加し、当該増加額は発生時に一括で費用処理しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412,123	1,638,415
受取手形及び売掛金	1,519,854	1,474,618
商品及び製品	368,461	335,037
仕掛品	266,840	260,068
原材料及び貯蔵品	619,079	514,691
その他	220,422	127,476
貸倒引当金	△2,737	△2,575
流動資産合計	4,404,044	4,347,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	465,171	473,873
機械装置及び運搬具（純額）	1,663,227	1,448,395
工具、器具及び備品（純額）	104,122	88,971
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	5,819	6,626
建設仮勘定	198,210	374,644
有形固定資産合計	2,851,979	2,807,941
無形固定資産		
ソフトウェア	2,529	4,362
その他	17,851	18,800
無形固定資産合計	20,380	23,163
投資その他の資産		
投資有価証券	135,565	180,186
破産更生債権等	68,750	71,250
その他	135,839	127,647
貸倒引当金	△68,750	△71,250
投資その他の資産合計	271,405	307,834
固定資産合計	3,143,765	3,138,939
繰延資産		
開業費	3,237	3,771
繰延資産合計	3,237	3,771
資産合計	7,551,048	7,490,442

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	974,267	999,826
短期借入金	906,927	567,850
1年内返済予定の長期借入金	580,926	661,638
未払法人税等	10,135	9,858
賞与引当金	48,684	—
設備関係支払手形	307,671	182,859
繰延税金負債	718	—
その他	298,740	332,715
流動負債合計	3,128,071	2,754,749
固定負債		
長期借入金	1,066,258	1,332,572
繰延税金負債	564	812
退職給付引当金	172,010	103,108
役員退職慰労引当金	113,090	107,100
環境対策引当金	1,428	—
その他	4,414	5,262
固定負債合計	1,357,765	1,548,855
負債合計	4,485,837	4,303,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,417,759	1,424,475
自己株式	△17,766	△17,759
株主資本合計	3,428,323	3,435,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△46,812	1,007
為替換算調整勘定	△316,328	△299,225
評価・換算差額等合計	△363,141	△298,217
少数株主持分	28	50,010
純資産合計	3,065,210	3,186,838
負債純資産合計	7,551,048	7,490,442

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	2,416,127	2,903,330
売上原価	2,308,287	2,279,792
売上総利益	107,839	623,538
販売費及び一般管理費	598,648	619,757
営業利益又は営業損失(△)	△490,809	3,780
営業外収益		
受取利息	4,370	886
受取配当金	643	1,878
助成金収入	18,472	6,787
作業くず売却益	—	9,973
その他	22,334	6,013
営業外収益合計	45,821	25,538
営業外費用		
支払利息	20,252	19,043
為替差損	3,496	4,237
その他	6,028	2,426
営業外費用合計	29,776	25,707
経常利益又は経常損失(△)	△474,764	3,611
特別利益		
固定資産売却益	742	—
負ののれん発生益	59,996	5,951
特別利益合計	60,738	5,951
特別損失		
固定資産除却損	587	987
環境対策引当金繰入額	—	1,428
退職特別加算金	—	1,126
特別損失合計	587	3,542
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△414,613	6,019
法人税、住民税及び事業税	5,222	6,911
法人税等調整額	△459	493
法人税等合計	4,763	7,404
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,384
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,561	5,330
四半期純損失(△)	△414,816	△6,715

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	1,306,320	1,580,503
売上原価	1,172,540	1,257,183
売上総利益	133,779	323,320
販売費及び一般管理費	290,850	333,328
営業損失(△)	△157,070	△10,008
営業外収益		
受取利息	2,313	458
受取配当金	300	—
助成金収入	4,715	3,586
作業くず売却益	—	3,576
その他	20,224	4,277
営業外収益合計	27,553	11,899
営業外費用		
支払利息	9,884	9,507
為替差損	2,433	△950
その他	4,523	26
営業外費用合計	16,841	8,583
経常損失(△)	△146,358	△6,692
特別利益		
固定資産売却益	742	—
負ののれん発生益	59,996	5,951
特別利益合計	60,738	5,951
特別損失		
固定資産除却損	442	979
退職特別加算金	—	1,126
特別損失合計	442	2,106
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,062	△2,847
法人税、住民税及び事業税	1,818	2,923
法人税等調整額	309	△58
法人税等合計	2,127	2,864
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△5,712
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,172	4,692
四半期純損失(△)	△87,017	△10,405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△414,613	6,019
減価償却費	499,718	216,469
貸倒引当金の増減額(△は減少)	143	204
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,214	48,684
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,329	68,901
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△39,010	5,990
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	1,428
受取利息及び受取配当金	△5,013	△2,765
支払利息	20,253	18,860
為替差損益(△は益)	2,566	66
負ののれん発生益	△59,996	△5,951
有形固定資産売却損益(△は益)	△742	28
有形固定資産除却損	587	959
売上債権の増減額(△は増加)	△459,761	△55,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	95,641	△143,620
仕入債務の増減額(△は減少)	300,780	△21,043
未収入金の増減額(△は増加)	3,400	2,220
未払金の増減額(△は減少)	△3,029	△641
その他	21,097	△37,087
小計	△39,092	102,917
利息及び配当金の受取額	5,108	3,133
利息の支払額	△18,500	△17,986
法人税等の支払額	—	△6,448
法人税等の還付額	145,357	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,872	81,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△363,217	△281,520
定期預金の払戻による収入	449,809	325,580
有形固定資産の取得による支出	△253,884	△232,748
有形固定資産の売却による収入	2,229	324
投資有価証券の取得による支出	△30,830	△3,199
子会社株式の取得による支出	△126,251	△47,613
保険積立金の解約による収入	62,613	—
その他	△1,025	685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,554	△238,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	52,428	338,199
長期借入金の返済による支出	△320,880	△347,026
自己株式の取得による支出	—	△6
リース債務の返済による支出	△394	△847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,845	△9,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,130	△5,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△417,397	△171,740
現金及び現金同等物の期首残高	1,749,468	1,149,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,332,071	977,677

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	水晶製品 (千円)	抵抗器 (千円)	インダクタ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,280,014	48,417	63,590	24,105	2,416,127	—	2,416,127
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,280,014	48,417	63,590	24,105	2,416,127	—	2,416,127
営業利益又は営業損失（△）	△168,325	7,322	6,193	7,093	△147,714	(343,094)	△490,809

(注) 1. 事業区分の方法

事業は製品の系列を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主 要 製 品
水晶製品	表面実装型水晶振動子、スルーホール実装型水晶振動子、表面実装型水晶発振器等
抵抗器	炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜固定抵抗器等
インダクタ	ラジアルリードインダクタ、チップインダクタ等
その他	開閉器等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,791,744	624,382	2,416,127	—	2,416,127
(2) セグメント間の内部売上高	573,545	45,623	619,168	(619,168)	—
計	2,365,289	670,006	3,035,296	(619,168)	2,416,127
営業利益又は営業損失（△）	△154,625	△13,118	△167,744	(△323,064)	△490,809

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア…台湾、シンガポール、マレーシア

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	16,697	732,809	1,684	751,191
II 連結売上高（千円）	—	—	—	2,416,127
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合（％）	0.7	30.3	0.0	31.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 - (1) 北米 …米国、カナダ
 - (2) アジア…シンガポール、マレーシア、台湾、中国、韓国、香港
 - (3) その他…EU、オーストラリア
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業の種類別を基礎としたセグメントから構成されており、「水晶製品事業」及び「その他の電子部品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水晶製品事業」は、ATカット水晶振動子、音叉型水晶振動子及び水晶発振器を生産しております。

「その他の電子部品事業」は、炭素皮膜固定抵抗器、不燃性炭素皮膜抵抗器、ラジアルリードインダクタ及びチップインダクタ等を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,785,308	118,022	2,903,330	2,903,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,785,308	118,022	2,903,330	2,903,330
セグメント利益又は損失 （△）	△8,659	12,270	3,611	3,611

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,611
四半期連結損益計算書の経常利益	3,611

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,563,270	—
その他の電子部品	62,267	—
合計	1,625,537	—

（注） 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,794,618	—	972,342	—
その他の電子部品	60,028	—	12,383	—
合計	1,854,646	—	984,726	—

（注） 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
水晶製品	1,519,412	—
その他の電子部品	61,090	—
合計	1,580,503	—

（注） 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。